



令和5年度

歴史講座

今年の「歴史講座」は郷土の近代史をテーマに開催します。是非、お誘い合わせのうえお申し込みください。

今年は、十枝雄三翁生誕150周年！

【第1部】 11月19日(日) 14:00~16:00(開場:13:30)

「名誉町民十枝雄三翁の三大功績について
-両総用水・小中池・町村合併を例に-」

講師:古山 豊 氏(市文化財審議会委員)



【第2部】 11月25日(土) 14:00~15:30(開場:13:30)

「明治初期、房総の教育と地域」

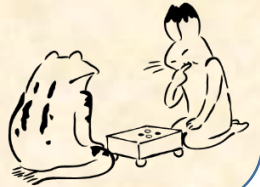
講師:村上 博美 氏(千葉県文書館)



【第3部】 12月3日(日) 14:00~16:00(開場:13:30)

「日露戦争を経験した千葉県の若者」

講師:久野 一郎 氏(御宿町月の沙漠記念館 館長)



会場:市保健文化センター 3階ホール

定員:各回60名(事前申込制)※定員に満たない場合は、当日の申込みを受け付けます

対象:テーマに関心のある方

主催:大網白里市生涯学習課(生涯学習班・図書室)

参加費
無料

【申込み・問合せ先】

大網白里市図書室 〒299-3251 大網100番地2

電話 0475-72-8383 (開室時間:9:00~17:00 月曜・祝日は休室)

(申込方法について) 10月17日(火)から申込受付開始!

QRコードから申込。又は窓口・電話にて承ります。



【申込フォーム】

※1回だけの参加も可能です。



令和5年度の歴史講座は郷土の近代史をテーマに全3回の開催！
 図書室より、各講座の概要とともに関連情報を少しだけご紹介します。
 郷土史について興味のある方は、是非お気軽にご参加ください♪

11月19日（日） 14:00~16:00

「名誉町民十枝雄三翁の三大功績について—両総用水・小中池・町村合併を例に—」

講座の概要

令和5年は、「両総用水事業」に尽力し、多くの農家の生活を安定化させた事で知られる十枝雄三翁の生誕150周年の年です。本講座では、最も有名な功績である両総用水事業に加えて、小中池の築造や町村合併に奔走した雄三翁の功績について学びます。



両総用水事業について

水源に乏しい九十九里平野の農家は早害が、利根川沿岸地域の農家は水害が農業を営む上で大きな悩みでした。そのため、両地域の問題を解決する策として利根川の水を九十九里平野に引く計画が立案されます。この計画は、昭和18年（1943）に国の事業として認証され、22年の歳月をかけて完成に至り、多くの農家で水による悩みが大幅に軽減し、安定的な農業が可能となりました。



十枝雄三翁胸像

11月25日（土） 14:00~15:30

「明治初期、房総の教育と地域」

講座の概要

日本に小学校が設立されるようになったのは、今から約150年前、明治5年（1872）の学制発布の頃でした。当時は各府県で様々な対応がとられ、小学校の設立が行われました。では、当時の千葉県は教育の近代化に向けてどのような対応を取っていたのでしょうか？また、小学校に対する地域の人々の反応はどのようなものだったのでしょうか？当時の小学校の実情に迫ります。



（「富田尋常小学校全景」大網白里町史より引用）

豆知識

富田尋常小学校

富田尋常小学校は現在の増穂小学校の前身の一つです。明治25年（1892）に校舎が建てられますが、それまでは私邸やお寺が小学校として子供達の学舎となっていたようです。「必ず邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん事を期す…」という明治初期の義務教育の目標は、時代の流れと共に達成されて行きますが、それには学校を支える地域の協力が大きな原動力となりました。



12月3日（日） 14:00~16:00

「日露戦争を経験した千葉県の若者」

講座の概要

日露戦争に千葉県の若者も多く参加していました。戦没者とその数で語ることは難しいことではないですが、彼ら個々人の問題として考えることは容易ではありません。このたびの講座では、大網白里市から日露戦争に参加した若者をはじめ県内の出征者に光を当て、彼らがどのように戦い死んでいったか、残された史料から具体的に考えます。



（「大網白里町の絵馬」より引用）

今年の歴史講座も充実の内容です。是非、お誘い合わせのうえお申し込みください。